

普及 ハンドボール競技の普及状況について

ハンドボール専門部 駒井 佳代子(県立宮代高等学校)

◇はじめに

埼玉県のハンドボール競技人口は、多少のチーム数の増加はあるものの、現在横這い状況である。『走る』・『跳ぶ』・『投げる』スピード感あふれる魅力あるスポーツだということを一人でも多くの人に感じてもらい、ハンドボール競技人口が増加するよう、ハンドボール専門部でも普及に努めていきたいと考えている。

◇活動内容

本県は、全体的には、中学校・高校からハンドボールを始める選手が多いことと思うが、ここ数年で小学生チームが増えてきた印象がある。埼玉県ハンドボール協会としても、普及の一環として始めた「彩の国カップ小学生大会」を高体連もバックアップして行っている。

(主な小学生大会)

- ・ 6月 埼玉県小学生大会
関東少年少女大会 ならびに 全国小学生大会 の埼玉県代表チームを決定する試合
- ・ 1月 彩の国カップ・小学生大会
高学年の部（6年生以下の男女対象）
低学年の部（4年生以下の男女混合）

(その他)

- ・ 小学生ハンドボールスクール開催
『o s a k i o s o l (大崎電気) ハンドボールスクール』として、小学生を対象に大崎の選手が楽しくレクチャーをしてくれる企画で、市立浦和高校の体育館で開催。

(高体連ハンドボール専門部の取り組み)

- ・ 一年生対象の技術講習会。(一年生大会)
- ・ 高校インターハイ県予選決勝 埼玉テレビにて放映。
埼玉県内の実業団 o s a k i o s o l (大崎電気) の協賛により、毎年実現している。大崎電気の選手の方にもゲストとしておこしいただき、サインボールのプレゼントや試合の解説等、御協力いただいている。中・高校生はもとより、小学生チームも、高校生の試合の合間にエキシビジョンとして試合を行い、その後高校生の決勝を観戦、実業団トップ選手との交流などハンドボールの魅力の間近で体験できる企画となっている。
- ・ 教員対象の技術講習会の開催
毎年、外部からコーチを招待し、専門の先生方だけではなく、ハンドボール未経験の顧問の先生方も含め、指導方法やハンドボールの技術の研究・研鑽を行っている。

◇今後の課題

小学生ハンドボールの活性化を生かし、現在横這い状況となっている中・高校生のハンドボール競技人口を増加させ、より多くの選手の育成を通してハンドボールを活性化させていきたい。